GPT-6.1 Terra 導入の知財・法務戦略

単なる文章生成AIから「知財エージェント」への進化とガバナンス

OpenAI 2026年10月26日発表モデル対応 /
企業知財・法務部門向けエグゼクティブ・ブリーフィング

Gemini Notebook



WHAT

「知財エージェント」への進化

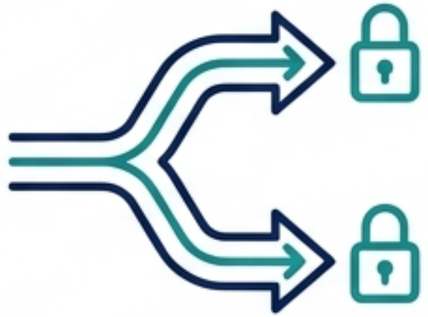
105万トークンの長文処理、視覚推論、ツール連携、構造化出力が統合。単一のプロンプト処理から、複合的な「調査・分析ワークフロー」を自律実行するモデルへ。



SO WHAT

規制の「執行フェーズ」突入

日・米・欧の法規制と判例が厳格化。AI学習のフェアユース否定事例も発生。無統制な利用は、著作権侵害、発明者性の喪失、守秘義務違反という致命的リスクに直結。



NOW WHAT

二段階統制ワークフローの構築

「全面禁止」でも「野放し」でもない。情報分類（公開/機密）に基づく安全なデータルーティングと、API契約・監査ログを組み合わせた戦略的ガバナンス体制が必須。

Gemini Notebook

GPT-6.1 Terra

Massive Context（コンテキスト窓）

1,050,000入力 / 最大128,000出力

大量の特許公報・審査経過の一括読み込みと長文生成。

Tool Orchestration（外部連携）

Web/File Search, Computer Use

最新法令の検索、PC操作、外部データベースとの自律的な連携。

Multimodal & Vision（視覚推論）

高解像度画像入力対応

意匠図面、機械図面、GUIとテキストの同時精密分析。

Structured Outputs（構造化出力）

100% JSONフォーマット遵守

クレームチャートや契約条項の精密で安定したデータ抽出。

最高性能の追求ではなく、性能・速度・コストを
企業実務向けに最適化したエンタープライズ特化モデル

Gemini Notebook



	GPT-5.6 Terra	GPT-6.1 Terra	実務への意味 (So What)
コンテキスト窓	105万入力 / 12.8万出力	105万入力 / 12.8万出力	変化なし
コスト (API標準)	(基準)	$1 / 1M input ↓ -50%	全公報をプロンプトに詰め込むより、RAGで必要文献を反復抽出する設計がコスト最適解に。
エラー率 (low-effort)	53.6%	16.7% (max設定: 4.3%) ↓	幻覚の大幅な減少。インタラクティブな一次レビュー用途に実用可能な精度へ到達。
実世界性能	Terminal-Bench: 21.5%	Terminal-Bench: 50.3%	エージェント・コード操作能力の躍進。複数工程の自律処理が可能に。

Gemini Notebook

従来のプロンプト依存型 (Legacy Workflow)

人間がDBを検索

↓

文献を選択してコピー

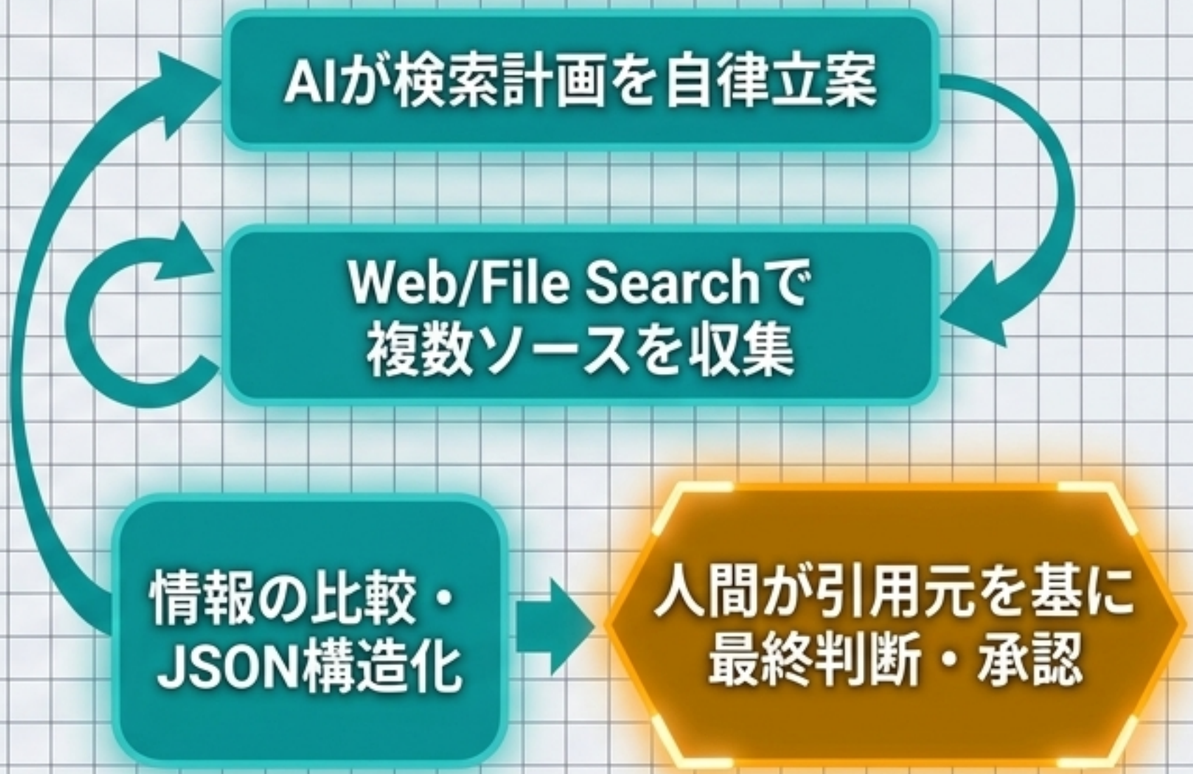
↓

AIに要約を指示（プロンプト）

↓

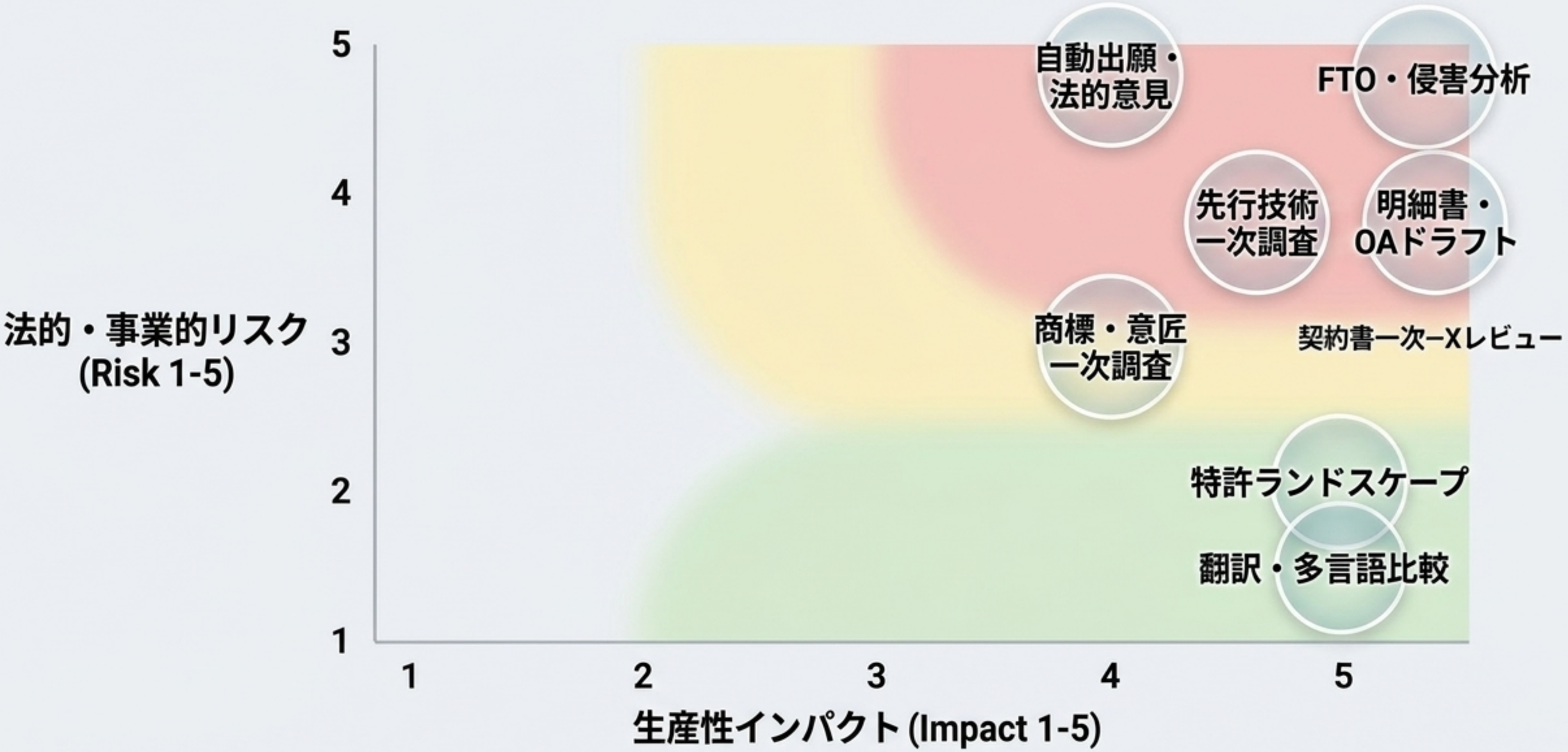
AIがテキストを生成

Terraによるエージェント型 (Agent-Driven Workflow)



日本弁理士会指針 (2026年): 「生成AIを『代わりに発明するもの』ではなく支援ツールと位置付け、AIの回答のみを信頼せず原典確認と専門家確認を行うこと」

Gemini Notebook



Insight: Terraの最大の価値は「人を置き換える」ことではなく、
「専門家一人が同時にレビューできる情報量を極限まで増やす」ことにある。

Gemini Notebook

Deep Dive: The Green Zone (即時導入が推奨される高価値ユースケース)

先行技術の一次スクリーニング

発明提案書
（テキスト/図面）



構成要件への分解、
検索式生成、文献の
要素別マッピング

要約と関連度スコア、
引用箇所

大量契約書のレビュー

100ページ級の契約群
（PDF群）



128K出力とStructured
Outputsによる自社
Playbookとの条項差分比較

リスク分類JSONと
修正文案

特許明細書・翻訳

発明ヒアリングメモ /
優先権証明書



用語統一、実施形態展開、
階層別クレーム案の
高速生成

ドラフト初稿
（差分diff管理）

Gemini Notebook

AIの推論領域（Terra）

超高速な一次アナリスト。
膨大な文献の読解、比較、
論点抽出を実行。



法的事実の確定（専門家責任）

⚠ **FTO・侵害分析の限界:** 誤陰性（見落とし）の事業損害は致命的。クレーム解釈（均等論等）は司法管轄に依存しAI単独では判断不可。

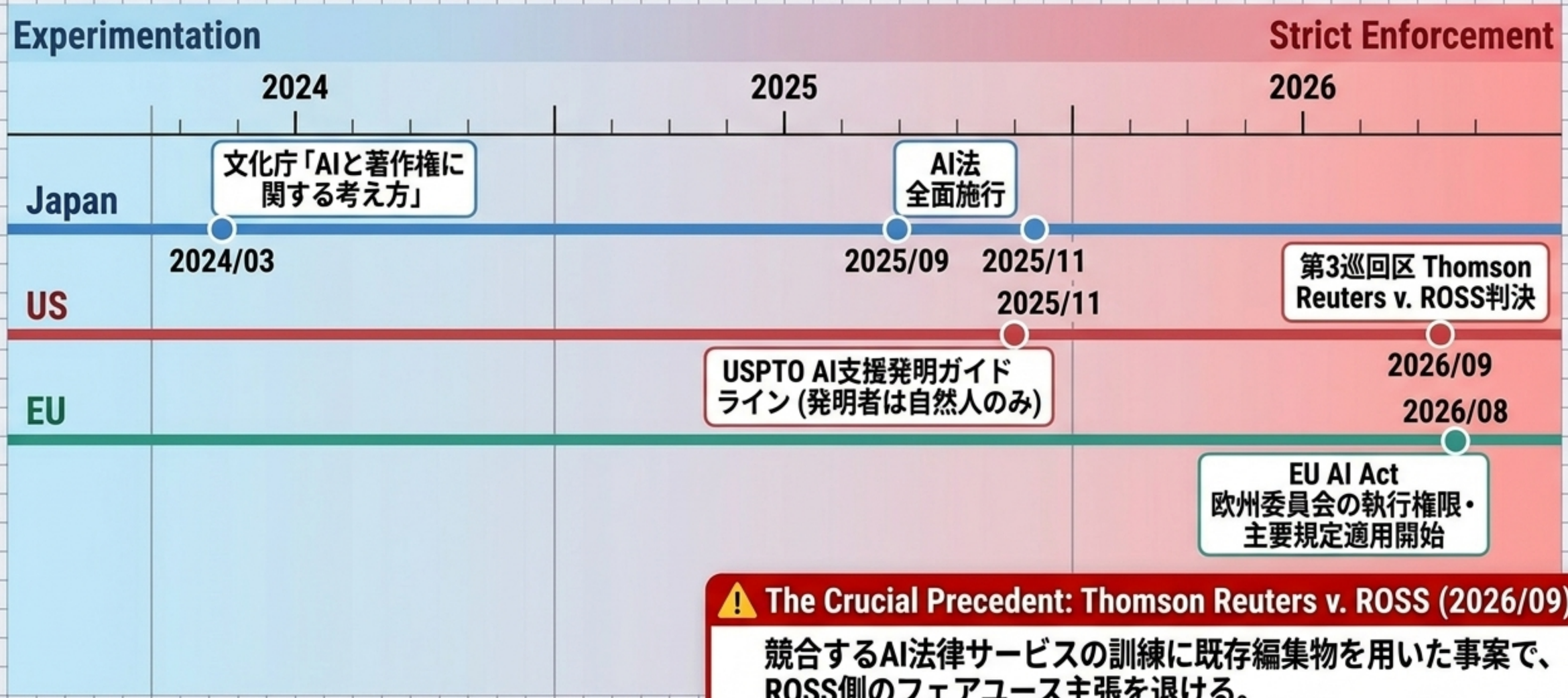
⚠ **一貫性の欠如:** 同一タスクの3回反復一致率は65.3%。高い平均性能と「個別案件での法的安定性」は別問題。

⚠ **専門家の法的義務:** USPTOやABA倫理規定が求める「合理的調査義務」や「誠実義務」はAIに委譲できない。

結論: AIは発明者認定、新規性の最終判断、FTO、重大な契約リスク判定の『最終署名者』にはなり得ない。

Gemini Notebook

The Global Regulatory Pressure Cooker (AI法務の「執行フェーズ」への移行)



⚠ The Crucial Precedent: Thomson Reuters v. ROSS (2026/09)

競合するAI法律サービスの訓練に既存編集物を用いた事案で、ROSS側のフェアユース主張を退ける。
Takeaway:『AI学習なら常にフェアユース』という神話の崩壊。

Gemini Notebook

Legal & Compliance Guardrails (必須となる4つの防御策)

1. 著作権 (Copyright)

リスク：既存著作物との類似性・依拠性。無断学習データの出力。

ガードレール：
重要成果物の類似表現検索、既存テンプレートとの由来確認の徹底。



2. 発明者性 (Inventorship)

リスク：AIの自律生成物は特許保護対象外（Thaler事件等）。

ガードレイル：課題設定、選択、検証における「人間による寄与の記録（Human Contribution Record）」の保持。

3. 秘密情報 (Confidentiality)

リスク：未公開発明や顧客データの意図せぬ学習・漏洩。

ガードレイル：
APIのゼロデータ保持（ZDR）適用、データレジデンシーの厳格な確認。

4. 倫理と監査 (Ethics & Audit)

リスク：弁理士・弁護士の守秘義務違反、ハルシネーションの放置。

ガードレイル：
電子証拠の原本保全（ハッシュ固定）、原典確認監査ログの義務化。

Gemini Notebook

The ‘Dual-Track’ AI Workflow (二段階統制ワークフロー)

情報受付

未公開発明
/ 秘密情報

公開情報

個人情報最小化・専用承認プロセス ヘルーティング

Minimization of Personal Information & Routing to

⚠ ※無料版/一般向けChatGPTへの入力は絶対禁止

承認済みTerra API (Approved Processing)

学習利用拒否設定 (no-training) & ZDR適用環境

出典強制と機械検証 (Forced Citation)

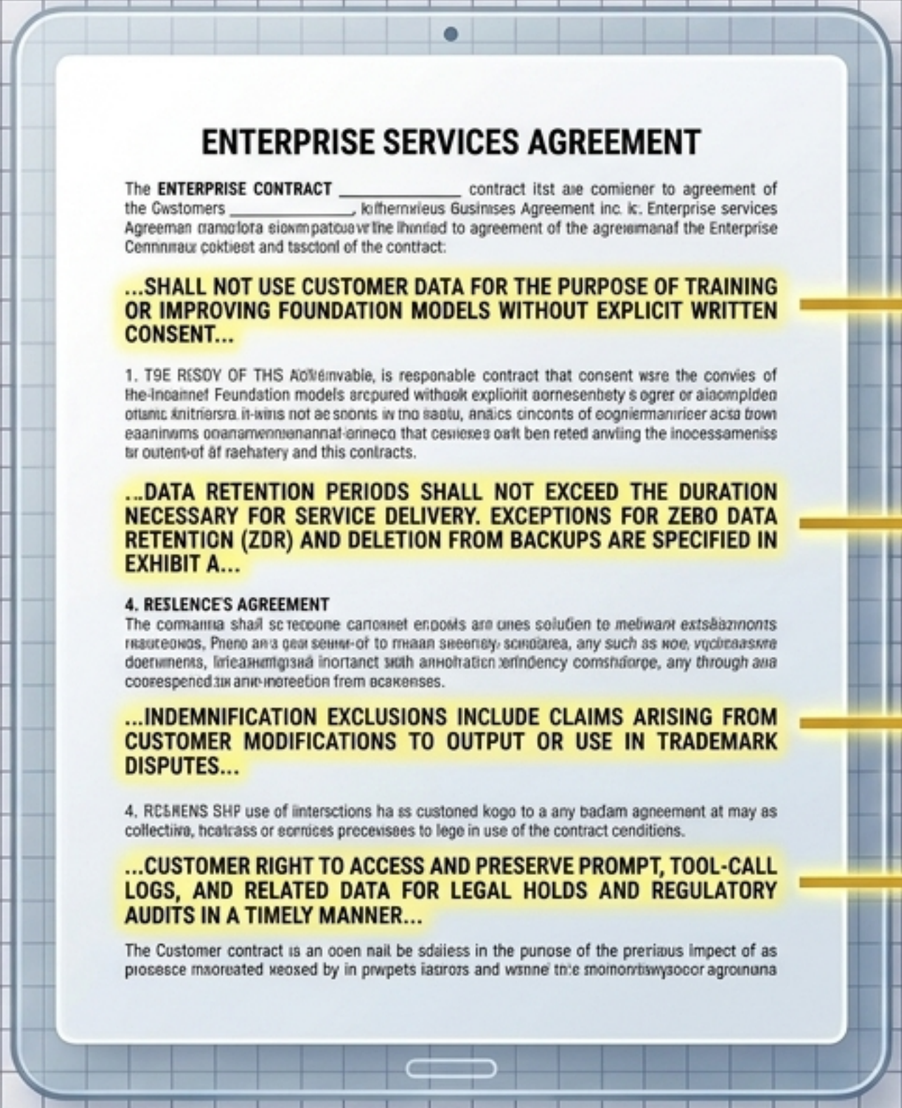
RAG処理。一次資料へのリンク・文献番号の
出力を強制し、構造化データとして検証。

人間による最終レビューと監査保存 (Human Review & Audit)

専門家による承認と同時に、Prompt, Model ID, Tool calls, 出力履歴をセットで監査ログとして保存。

Gemini Notebook

Enterprise Contracting & Governance (ベンダー契約の勘所)



学習利用の禁止

企業データ (Input/Output) が基盤モデルの再訓練に使用されないことを明示的同意なしに防ぐ条項 (API デフォルト機能の法的確約化)。

データ保持と削除 (Retention)

サービス提供に必要な最小期間を超えた保持の禁止。ZDR (Zero Data Retention) の例外とバックアップからの削除条件の特定。

第三者権利と補償 (Indemnity)

出力に対する知財侵害補償の「除外事項」(利用者が改変した場合や商標利用など) を自社リスクと照合し明確化。

監査・証拠保全協力

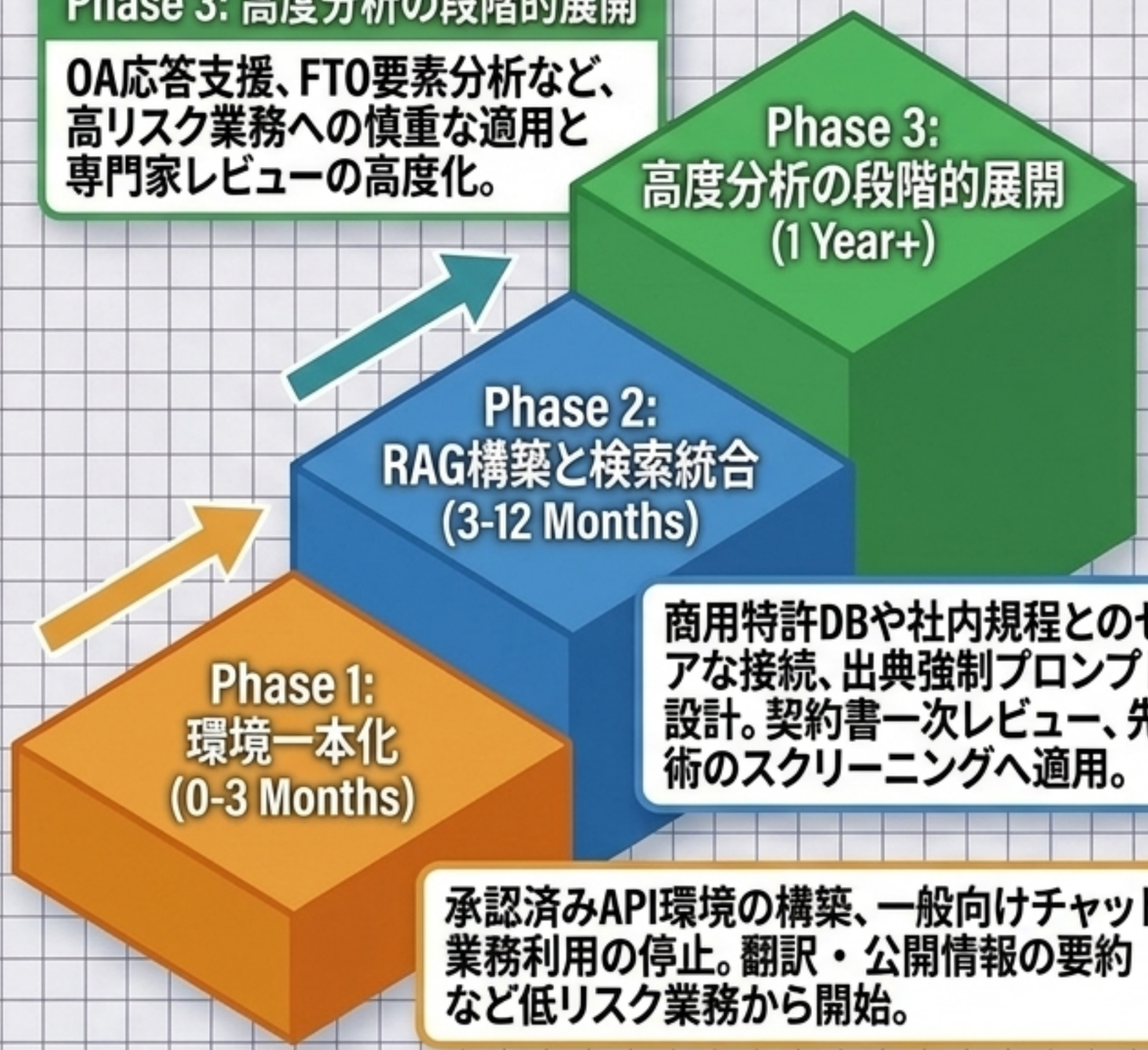
訴訟ホールドや規制当局調査時に、PromptやTool-callログを確実かつ迅速に取得できる権利の確保。

Gemini Notebook

Implementation Roadmap（段階的導入と評価基準）

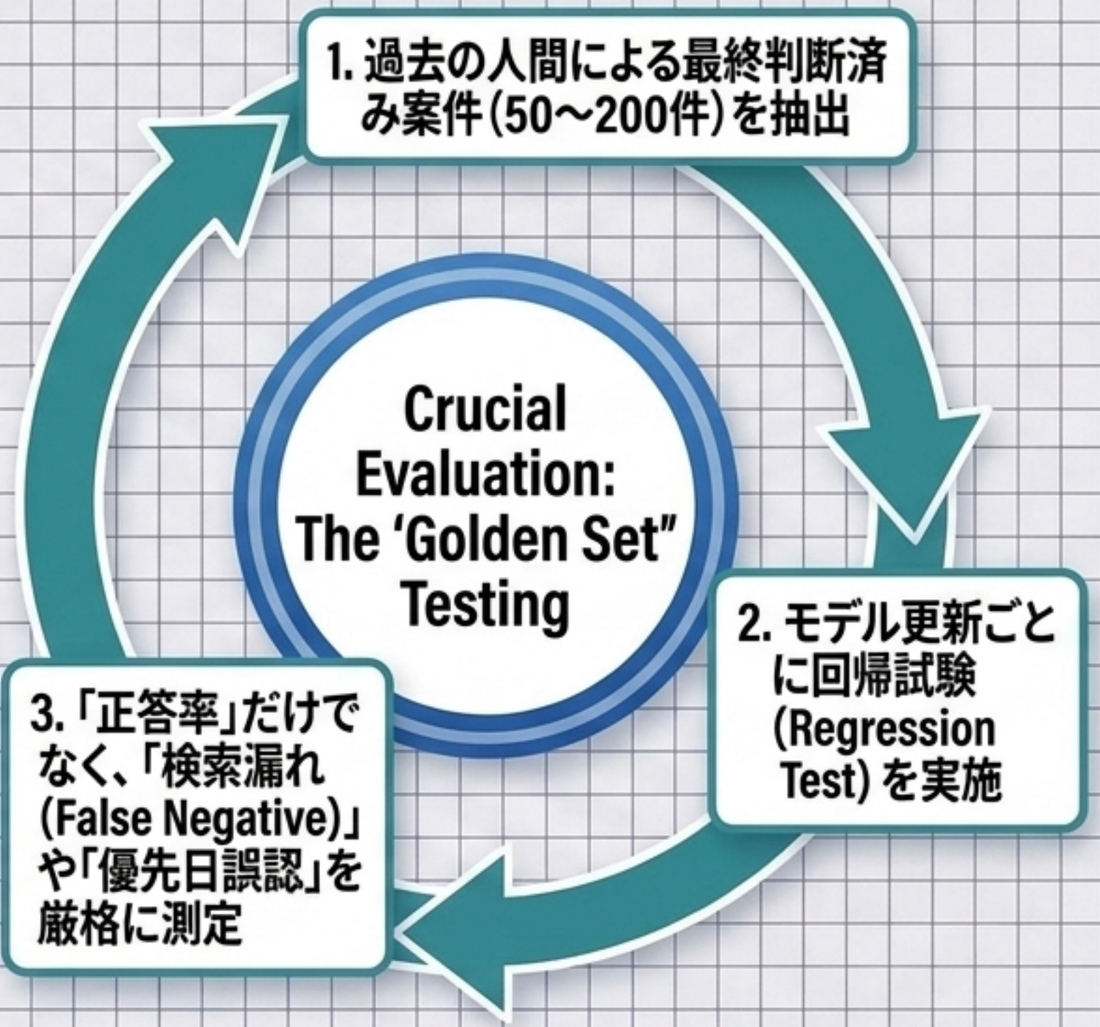
Phase 3: 高度分析の段階的展開

OA応答支援、FTO要素分析など、高リスク業務への慎重な適用と専門家レビューの高度化。



商用特許DBや社内規程とのセキュアな接続、出典強制プロンプトの設計。契約書一次レビュー、先行技術のスクリーニングへ適用。

承認済みAPI環境の構築、一般向けチャット業務利用の停止。翻訳・公開情報の要約など低リスク業務から開始。



Gemini Notebook



GPT-6.1 Terraは「法律家」ではない。検索、読解、比較、ツール操作を一つのワークフローに束ねる、超高速な「知財アナリスト」である。

全面解禁による法的破滅も、
全面禁止による競争力喪失も、
共に回避すべき極端な選択です。

管理されたエンタープライズ環境で、
リスクの低い工程から「統制されたパイロット運用」を直ちに開始すること。
それが、知的財産を護りながら生産性を飛躍させる唯一の最適解です。

Gemini Notebook